



2024年9月30日

各位

会社名 マクニカホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 一将
(コード番号: 3132 東証プライム)
問合せ先 取締役 大河原 誠
(TEL 045-470-8980)

TCFD 提言に基づく情報開示に関する更新のお知らせ

当社は、2023年度 GHG 排出量について、開示データの正確性、信頼性向上を目的として、温室効果ガスの算定手法や算定範囲の適切性について、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センターによる第三者検証を受審いたしました。これにより、Scope1、2、3のGHG排出量実績及びCDP サプライチェーン・プログラムの対象範囲を拡大したことにより参考情報として記載している Scope3 の GHG 排出量実績を更新いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

<指標と目標>

1. マクニカグループ (グローセルグループ除く。)

項目	対象範囲	排出量実績 (t-CO2)			
		2022年度 ^{※3}	2023年度 (更新前)	2023年度 (更新後)	前年比 (更新後)
Scope1	海外連結子会社 ^{※1} まで含む	719.88	846.08	866.88	+20.4%
Scope2	同上	1,267.48	1,022.35	1,025.90	△19.1%
Scope3	① 海外連結子会社の Scope3 下流まで含む (従来の産業連関表を用いたもの)	4,753,484.44	4,052,011.16	4,051,770.15	△14.8%
	② 対象範囲は上記同様 (Category 1 の製品について、CDP サプライチェーン・プログラムを活用したデータ ^{※2})	—	1,539,998.75	1,202,961.16	(参考情報) 2023年度分より初算定
排出量 合計	上記 Scope3 の分類に基づく、Scope1~3 までの排出量合計	① 4,755,471.81	4,053,879.59	4,053,662.93	△14.8%
		② —	1,541,867.18	1,204,853.93	(参考情報) 2023年度分より初算定

※1: それぞれの事業年度末における連結子会社を算定対象としております。なお、2024年3月6日付で、当社連結子会社となりました株式会社グローセル分は、2023年度連結決算の方針に基づき、資産のみを対象として上記を算定しております。

(PL 部分は対象外)

※2: 当社は、当社仕入先の排出量削減の努力を反映すべく、CDP サプライチェーン・プログラムを活用して、仕入先の一次データ (サプライヤーごとの売上高に基づく排出原単位) や二次データ (CDP 提供のセクター平均) を入手、この内容を検証の上、Scope3 Category 1 の製品排出量に置き換える取り組みを行っております。なお、前回の2024年6月25日公表時よりも排出量を置き換える仕入先の範囲を拡大、全仕入先を対象としたため、より一層の差分が発生しております。

※3: SBT 認定取得の申請にあたり、2022年度分 Scope3 の算定見直しを図ったため、昨年の TCFD 開示情報の数値と若干異なっております。

2. グローセルグループ

当社は、2024年3月6日付で、株式会社グローセルを連結子会社としておりますので、ここに参考情報としてお知らせいたします。

項目	対象範囲	排出量実績 (t-CO2)			
		2022年度	2023年度 (更新前)	2023年度 (更新後)	前年比 (更新後)
Scope1	海外連結子会社まで含む	32.32	30.15	30.07	△7.0%
Scope2	同上	277.08	166.47	167.79	△39.4%
Scope3	海外連結子会社の Scope3 下流まで含む	280,479.15	364,782.78	364,681.54	+30.0%
排出量合計	Scope1～3 までの排出量合計	280,788.54	364,979.40	364,879.40	+29.9%

3. マクニカグループ (グローセルグループ含む。)

上記1・2を合算したものになります。当社では今後 CDP への回答等外部への公表につきましては、こちらの合算した数値を当社グループの正式な数値として採用させていただきます。また、2023年度排出量につきましては、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センターによる第三者検証を受審し、検証報告書を受領いたしました。

項目	対象範囲	排出量実績 (t-CO2)				
		2022年度	2023年度 (更新前)	2023年度 (更新後)	前年比 (更新後)	
Scope1	海外連結子会社まで含む	752.20	876.23	896.95	+19.2%	
Scope2	同上	1,544.56	1,188.82	1,193.69	△22.7%	
Scope3 ^{※4}	① 海外連結子会社の Scope3 下流まで含む (従来の産業連関表を用いたもの)	5,033,963.58	4,416,492.27	4,416,150.02	△12.3%	
	② 対象範囲は上記同様 (Category 1 の製品について、CDP サプライチェーン・プログラムを活用したデータ)	—	1,904,479.86	1,567,341.03	(参考情報) 2023年度分より初算定	
排出量合計	上記 Scope3 の分類に基づく、Scope1～3 までの排出量合計	①	5,036,260.34	4,418,557.32	4,418,240.66	△12.3%
		②	—	1,906,544.91	1,569,431.67	(参考情報) 2023年度分より初算定

※4：Scope3 において、マクニカグループとグローセルグループで重複して算定している分については、差し引いております。

当社では、Scope3 Category1 (製品) の排出量について、2023年まで「仕入金額×排出係数」のみで算定していたため、売上高 (仕入金額) の増加に伴い、排出量も比例して増加する仕組みとなっておりました。2024年より CDP サプライチェーン・プログラムを活用することにより、排出量の多いサプライヤーを特定のうえ、排出量の一次データを入手、サプライヤーの削減努力を反映できる算定ロジックによる排出量も参考情報として公開することといたしました。なお、データの置き換えにあたっては、サプライヤー毎に提供された情報の正確性・信憑性を検証し、一定の基準を設けて実施しており、この基準を満たせなかったサプライヤーやその他のサプライヤーについては、CDP の提供するセクター平均 (二次データ) を活用するようしております。

また、当社では2024年5月8日、株式会社グローセルを含むマクニカグループ全体としてSBT認定を取得しており、この認定に基づき温室効果ガス排出削減目標を設定、事業活動におけるCO2排出削減の取り組みを推進しています。当社では、パリ協定の「1.5℃目標」を達成するため、引き続き、環境負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

以上